

How to 施設管理 No8

Q: 学校敷地内でカラスの集団をみますが……

A: 日本には2種類のカラスが生息するようです。

※都会に多くみられる、くちばしの太いハシブトガラス、肉類や油っぽいものを餌として、見つけた餌は「雨とい」等に隠す。

※農耕地、河川敷に生息するくちばしの細いハシボソガラス、果実や稲など、農作物を餌として、見つけた餌は「岩下」、「草むら」等に隠す。

被害は、子育てをする春から夏にかけて多く、カラスは羽に何かが触れるのをすごく嫌がるようです。最近、学校でも、朝、北棟西側の畑にカラスが集団で来ています。



朝の清掃作業、日中の造園作業など、フロア、ヘッジトリマー等の音の出る工具を使用するためか？カラスは威嚇されたと勘違いし、学校の技能職員目掛けて攻撃してくる場面が多々あります。



黄色のヘルメットが活躍しています。

「カラス撃退法」

- ・敷地内にゴミを放置しない。
- ・生ごみを敷地内に置かない。
- ・強力な光をあてる。
- ・仲間の死がいと似たものをみせる。
- ・案山子を活用する。
- ・黄色のヘルメットを被っていると襲われない事が多い。